



# ふれあい祭り 2022 を開催しました

10月5日(水)午後から、三重病院恒例の「ふれあい祭り」を開催しました。令和2年度は中止、昨年度は病棟毎での開催と、新型コロナウイルス感染症流行の影響を受けてきた本催しですが、今年度はいろいろな病棟の患者さんが集まるメイン会場を中心に、重症化リスクの高い方が多い病棟は、食堂やプレイルームをサブ会場にするなど、入院している患者さんが何らかのかたちで「ふれあい祭り」に参加できるよう工夫し、無事開催にこぼつけることができました。

## 祭 メイン会場では…

メイン会場である大会議室では、四日市を中心に活動されている「まんまる座」さんをゲストにお迎えし、笛、鉦、太鼓によるお囃子と獅子舞で開会式を盛り上げていただきました。初めて見る獅子舞にびっくりして泣いてしまう小児の患者さんや、神妙な顔つきで獅子に頭噛みしてもらう若い患者さん、みんなの様子を見てほほ笑む年配の患者さんなど、それぞれが記憶に残る開会式になったと思います。ちなみに獅子の頭噛みは、霊獣のちからにより「魔(病気)を払う」「神がつく(噛みつく)」ということで、縁起がよいと言われているそうですよ。

開会式後は、「わなげ」「スーパーボールすくい」「千本引き」の縁日遊びを体験していただきました。レントゲン技師や検査技師、薬剤師、栄養士、他病棟の看護師など、普段接する機会のない病院職員とも「どれにしようかな」「これはどう?」「いっぱい取れたよ」などと会話したり、「これもらった!」と景品を見せてくれるお子さんもいて、患者さんの楽しげな声の響く、賑やかなメイン会場となりました。

そのほか、各病棟の患者さんに色塗りしてもらった、三重病院マスコットキャラクター「みえツウちゃん」のぬり絵展示も行いました。色とりどりに塗られたツウちゃん、どれもみんなかわいかったです。またお昼の給食は、じゃがバターや焼きそば風ソテーなど屋台メニューっぽい献立で、お祭りカードもついて雰囲気上々でした。

開催にあたってご協力いただいた院内各部署の皆様、まんまる座の皆様、どうもありがとうございました。

(療育指導室長 村松 順子)

## 祭 サブ会場では…

今年度は5病棟プレイルーム・ベッドサイドと南3病棟食堂、北3病棟ベッドサイドをサブ会場として、職員による「ふれあい隊」と「紐くじ屋さん」、ゲストの「まんまる座」さんが病棟訪問を行いました。

ふれあい隊の訪問を5病棟プレイルームで待っていた患者さんは、これから何が行われるのだろうとソワソワした様子でした。そして、かわいいパンダさんが登場すると、患者さんたちは驚きと喜びの表情を浮かべて、拍手でお迎えしてくれました。

パンダさんと記念撮影をし、紐くじを引いて景品をゲットした患者さんは、みんなとても素敵な笑顔を浮かべていました。

その後、「まんまる座」の方々にお越しいただき、迫力ある太鼓演奏と獅子舞を披露してもらいました。プレイルーム中に太鼓と笛の音が響き渡る圧巻のパフォーマンスに、患者さんたちは大興奮の様子で、足をバタバタさせて喜び姿もみられました。また、プレイルームに出られなかった患者さんについては個々にベッドサイドを訪問し、お祭りの雰囲気を存分に楽しんでいただきました。患者さんにとってもスタッフにとっても、忘れられない特別な一日となったと思います。(児童指導員 森 日奈子)



## やまばとギャラリー information 情報コーナー

すっかり秋も深まり、だんだんと冬のおいがしてきましたね。木々の葉っぱも色を変え、季節の移り変わりを感じる今日この頃です。ということで、今月の作品は「落ち葉」です。布の切れ端を患者さんに好きなようにペタペタと貼ってもらい、形も柄もさまざまに個性あふれた素敵な作品ができあがりました。是非やまばとギャラリーへ足を運んでご覧ください。次回の展示作品もお楽しみに!

(児童指導員 森 日奈子)

